

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

29年 7月10日

大分県知事殿



提出者 有限会社 大野ファーム
 住 所 大分県豊後大野市三重町小坂2945
 氏 名 代表取締役 後藤 祐三
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0974-24-9047

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 大野ファーム
事業場の所在地	大分県豊後大野市三重町小坂2945
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	母豚200頭 育成豚20頭 〇豚6頭 子豚900頭 肉豚1300頭
③ 従業員数	6人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	豚舎内の集糞ピットよりスクリュウコンベアーで運搬用のショベルローダーに搬送し、コンポストに投入し2～3週間かけて発酵させ取り出した後、堆肥舎にて1～2か月追熟させた後、農家に販売する。」 尿は活性汚泥法で浄化処理後放流する。 死亡豚は、レンダリング業者に委託して化成処理する。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 状	【前年度（ 28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	排 出 量	1432 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	排 出 量	1432 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 状	【前年度（ 28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1432 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1432 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 状	【前年度（ 28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	17 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	17 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	17 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	17 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			